

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-224617

(P2001-224617A)

(43) 公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームト* (参考)
A 6 1 F	5/453	A 6 1 F 5/453	4 C 0 0 3
	5/44	5/44	H 4 C 0 9 8
	13/472	A 4 1 C 3/04	B
	13/15	A 6 1 F 13/18	3 4 0
// A 4 1 C	3/04		
審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 4 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-39189 (P2000-39189)

(22) 出願日 平成12年2月17日 (2000.2.17)

(71) 出願人 000183462

株式会社クレシア

東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

(72) 発明者 川口 豊之

東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社  
クレシア内

(72) 発明者 安彦 毅哉

京都府福知山市長田野町1-54 株式会社  
クレシア京都工場内

(74) 代理人 100063484

弁理士 箕浦 清

Fターム (参考) 4C003 EA03 HA05

4C098 AA09 CC07 CC10 CC14 CC38

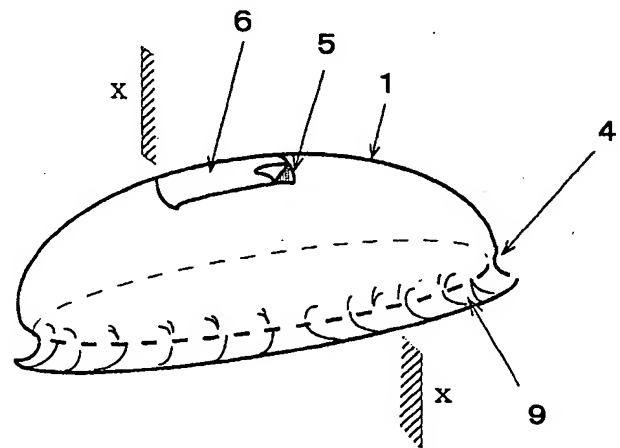
CE06 CE14 DD03 DD24

(54) 【発明の名称】 ドーム形状吸収性物品およびその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 着用感が良く、尿の漏れがなく、着脱が容易で且つ軽量で携帯性に優れたドーム形状吸収性物品を提供する。

【解決手段】 衣類側の外側シートと身体側の表面シートと両シート間の吸収体とからなる吸収性物品において、上記の吸収体を囲む弾性部材を環状に付設し、身体側を内側にしてドーム形状にすることにより、尿の漏れを防ぎ、着用感が良く、着脱が容易で軽量のドーム形状吸収性物品が得られた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】吸収体を備えたシート状吸収性物品において、該吸収体を取囲む環状の弾性部材によるシート状吸収性物品の環状絞り込みにより、身体側を内側にしたドーム形状としたことを特徴とするドーム形状吸収性物品。

【請求項 2】衣類側の外側シートと身体側の表面シートと両シート間の吸収体とを有する吸収性物品において、上記の吸収体を囲む弾性部材を張力をかけた状態で環状にシートに付設し、該弾性部材の張力復元により、身体側を内側にしたドーム形状にしたことを特徴とするドーム形状吸収性物品。

【請求項 3】吸収体は円形もしくは楕円形の平面形状を持ち、弾性部材は該吸収体の外側に接しまたは離れてこれに沿うように環状に付設されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 4】外側シートの外面に吸収性物品を衣類に取付けるための粘着剤その他の取付け手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 5】粘着剤塗布部が剥離紙でカバーされていることを特徴とする請求項 4 記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 6】衣類側の外側シートが防漏シートであることを特徴とする請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 7】防漏シートの外側に風合いや吸汗性に優れる不織布をラミネートすることを特徴とする請求項 6 記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 8】身体側の表面シートが透液性シートであることを特徴とする請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 9】ドーム形状の内側に吸収体の外縁と環状の弾性部材との間より延びる第 2 の環状弾性部材を備えた褄を装着したことを特徴とする請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載のドーム形状吸収性物品。

【請求項 10】防漏シート上に吸収体を載せ、該吸収体の外周に接しまたは距離を置いてこれに沿うように環状に弾性部材を張力をかけた状態で該シートに付設し、その上から表面シートを載せ接合することを特徴とするドーム形状吸収性物品の製造方法。

【請求項 11】防漏シート上に平面円形の吸収体を相隔てて載せ、各吸収体を囲むように環状に弾性部材を夫々張力をかけた状態で付設し、それらの上から表面シートを載せ接合した後、環状の弾性部材の各外周に沿って夫々環状に打抜くことを特徴とするドーム形状吸収性物品の製造方法。

【請求項 12】環状に打抜きしたドーム形状の吸収性物品を半球形状等の型により型押ししてドーム形状を保持し易くしたことを特徴とする請求項 10 記載の製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、着用感が良く着脱が容易で尿の漏れがなく、且つ軽量で携帯性に優れたドーム形状吸収性物品およびその製造方法並びにその用途に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、男性の失禁者は吸収体を含む積層体からなる尿取りパッドを折り畳み陰部を包み込むように装着していた。この場合、積層体が幾重かに重ねることとなり非常にかさばり着用者の動きを阻害することとなる。軽度の失禁や残尿感に悩む男性に対する装着感に優れ、着脱が簡易でかつ漏れにくい有効な吸収性物品は得られておらず対応が望まれていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、従来の吸収性物品の欠点を改善するため衣類側の外側シートと身体側の表面シートと両シート間の吸収体を備えた吸収性において、吸収体を囲む弾性部材を張力をかけた状態で環状にシートに付設し、該弾性部材の張力復元により身体側を内側にしたドーム形状にすることにより尿の漏れを防ぐことができるようにしたもので、着用感が良く、着脱が容易で軽量にすることができたことにより所期の目的を収めたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、衣類側の外側シートと身体側の表面シートと両シート間の吸収体とを備えた吸収性物品において、上記吸収体を囲む弾性部材を環状に張力をかけた状態で付設し、弾性部材の張力復元により身体側を内側にしたドーム形状に成形されている。上記の吸収体は円形もしくは楕円形の平面形状を持ち、弾性部材は該吸収体の外側に接しまたは離れてこれに沿うように環状に張力をかけた状態で外側シートまたは表面シートに付設される。弾性部材を張力をかけた状態で環状に付設してシートをドーム形状に弾性部材の張力復元力を利用して自動的にドーム形状に絞り成形することで尿の漏れを防止し、身体からずれ難くすると共に従来の吸収性物品の様に嵩張ることも無く、皮膚を覆う面積も少なく蒸れにくく軽量になり携帯できるようになった。

【0005】又本発明は、外側シートの外面に吸収性物品を衣類に取付けるための粘着剤その他の取付け手段を備えている。これは着用時に下着に固定し、吸収性物品がずれにくくするためである。従って、従来のファスナーテープやベルト等は不要で着けやすく、外しやすく着脱が容易である。

【0006】上記の粘着剤塗布部は剥離紙で覆われている。下着に固定する場合は剥離紙を剥けば粘着剤が露出し下着に接着固定してずれにくくできる。又本発明は、衣類側の外側シートがポリエチレン等よりなる防漏シ-

トであり、この防漏シートの更に外側に風合いや吸汗性に優れる不織布をラミネートすることで外側シートが改善できる。又本発明は、身体側の表面シートが透液性シートである。従って、尿はこの透液性シートを透り吸収体に吸収される。又本発明は、ドーム形状の内側に吸収体の外縁と環状の弾性部材との間より延びる第2の環状弾性部材を備えた襷を装着して弾性部材での漏れ防止を多段とし、漏れ防止効果を更に向上することができる。

【0007】更に又本発明は、展張状態の防漏シート上に吸収体を載せ、該吸収体の外周に接し、または距離を置いてこれに沿うように環状に弾性部材を張力をかけた状態で接着剤等で固着付設し、その上から表面シートを載せ接合することにより防漏シートの展張を解放することで、弾性部材の張力復元によって弾性部材の付設環状部が自動的に絞り込まれドーム形状を形成するドーム形状吸収性物品の製造方法に関する。上記のポリエチレン等よりなる長尺の展張防漏シート上に平面円形の吸収体を相隔てて載せ、各吸収体を囲むように環状に弾性部材を張力をかけた状態で夫々固着付設し、それらの上から表面シートを載せ接合した後、環状の弾性部材の各外周に沿って夫々環状に打抜く。これにより環状打抜きシートは弾性部材の張力復元によりドーム形状に自動的に絞り込まれる。

【0008】更に、環状に打抜きして表面シートを内側にしたドーム形状吸収性物品を半球形状等の型により型押ししておけばドーム形状を保持し易く、また所望形状のドーム形状に整形でき便利である。このような製造法により、本発明のドーム形状吸収性物品が容易かつ効果的に得られる。本発明のドーム形状吸収性物品は主として男性用の失禁者用であるが、女性用の母乳パット等への応用も可能である。

【0009】

【実施の形態】以下に本発明の実施例を男性用失禁用パッドに適用した場合を示すが、これは例示のためであつて本発明を限定するものではない。

【0010】

【実施例】[実施例1]図1から図3に示すように、衣類側の平面円形もしくは楕円形の外側シート(1)と身体側の同じく平面円形もしくは楕円形の表面シート(3)との間に両シートより小径の平面円形もしくは楕円形の吸収体(2)を略同心円状に介装して吸収性物品の本体となし、上記の吸収体(2)を囲む環状の弾性部材(4)をシート(1)(3)の外周縁近傍に沿って張力をかけた状態で固定し、部材(4)の張力を解放することで部材(4)の円周長を絞り込ませることで身体側を内側にしたドーム形状にする。この吸収体(2)は円形もしくは楕円形の平面形状を持ち、弾性部材(4)は吸収体(2)の外側に接し、または間隔(D)だけ離れてこれに沿うように環状に付設されている。また弾性部材(4)の外周には反転して拡がっている半径長(d)の襷

縁(9)が形成され、吸収性製品の装着性を良くしている。図1および図2に示すように、外側シート(1)の外面に吸収性物品を衣類(下着)に取付けるための粘着剤(5)およびこれを不使用時に覆う剥離紙(6)を備えている。下着に取付ける際には剥離紙(6)を剥げばその下の粘着剤(5)で下着に接着固定することができ、吸収性物品の着用時の前後、左右へのずれを効果的に防止できる。上記においてシート(1)(3)は、これを円形もしくは楕円形としたが、(長)方形その他の任意の平面形状とすることも可能である。

【0011】[実施例2]図4は外側シートがポリエチレン等よりなる防漏シートである場合に、その風合いや吸汗性を改善した例である。外側シート(1)がポリエチレン等よりなる防漏シートであり、防漏シートの外側に風合いや吸汗性に優れる不織布(7)をラミネートすることで防漏シートの改善を図ることができる。表面シート(3)は透液性シートであり、尿はこの透液性シートを透って吸収体(2)に吸収される。

【0012】[実施例3]図5で示すように、ドーム形状の内側に吸収体(2)の外縁と環状の弾性部材(4)との間より延びる第2環状弾性部材(10)を備えた内襷(11)を装着して吸収体(2)より漏出する液体を2段の弾性部材(10)(4)によって効果的に阻止し漏れ防止効果がさらに向上する。

【0013】[実施例4]図6で示すように、(A)展張状態に保持された長尺の防漏シート(1)上に平面円形もしくは楕円形の吸収体(2)を相隔てて載せ、(B)各吸収体(2)を囲むように環状に弾性部材(4)を夫々テンションをかけてシート(1)上に接着付設し、それらの上から同じく長尺の表面シート(3)を載せて接合した後、(C)環状の弾性部材(4)の各外周に沿って夫々点線で示したように環状に打抜き(12)してある。環状に打抜きした各製品は、環状の弾性部材(4)の張力復元によって円周長が絞り込まれドーム形状を採る。これを表面シート(3)を内側にしたドーム体とする。ドーム形状吸収性物品は、半球形状等の型により型押ししてドーム形状を保持し易くすることができる。

【0014】

【発明の効果】衣類側の外側シートと身体側の表面シートと両シート間の吸収体があり、吸収体を囲む弾性部材を環状に付設し、身体側を内側にしたドーム形状にすることにより尿の漏れを防ぐことができ、着用感が良く、着脱が容易で且つ軽量で携帯性に優れたドーム形状吸収性物品が得られた。

【図面の簡単な説明】

【図1】ドーム形状吸収性物品の表側からの全体斜視図  
【図2】図1のX-X断面図

【図3】ドーム形状吸収性物品の裏側からの全体斜視図

【図4】ドーム形状吸収性物品の別の例を示す断面図

【図5】ドーム形状吸収性物品の更に別の例を示す断面図

図

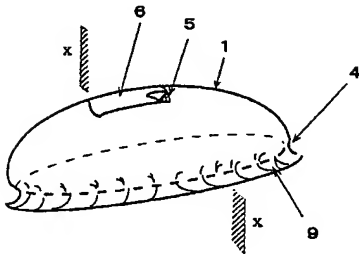
【図6】A、B、Cはドーム形状吸収性物品の製造順序を示す工程図

【符号の説明】

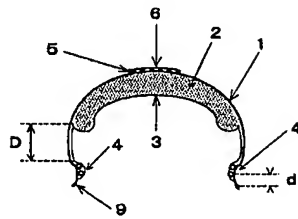
1. 外側シート
2. 吸収体
3. 表面シート
4. 弾性部材

5. 粘着剤
6. 剥離紙
7. 不織布
8. 第2弾性部材の襞
9. 襞縁
10. 第2弾性部材
11. 内襞
12. 打抜き

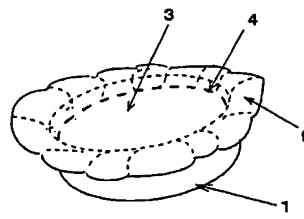
【図1】



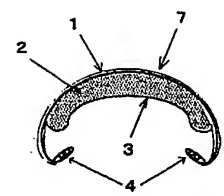
【図2】



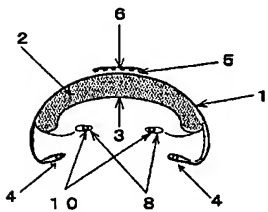
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

